

第3節 2日目：8月6日（火）：松山への移動 晴れ



※新幹線としおかぜで松山駅へ





※居魚屋で夕食

第4節 3日目：8月7日（水）：伊予大洲～向井原 晴れ

2024年8月7日（水）晴れ、京都・松山の旅の3日目は、予讃線と連結している内子線（伊予大洲～向井原：営業キロ 34.7 km）に挑戦する。海岸線周りの伊予大洲駅から向井ヶ原駅までは2013年8月、2017年8月に踏破済みである。“こだわり鉄道つたい歩き”PDF読本の第19巻として「宇野線・本四備讃線・予讃線」の執筆を予定している。この中に内子線が欠落するのは歩く鉄道作家として可笑しいと考え、急遽内子線の踏破に思いついた。松山から宇和島までの特急”宇和海”は内子線を経由して松山・宇和島に向かっている。海岸線周りは、下灘駅など観光はあるが、特急は走っていない。昨夜、京都から5時間弱要して松山まで移動した。それ故、ホテル到着は21時前となった。当初は松山から伊予大洲までの移動を松山発6時48分発の宇和海3号を予定していたが、不測の事態を想定し1時間繰り上げて5時48分の始発に変更する。結果大正解であった。



※宇和海1号の指定席は私のみ、ゴージャスな気分になりました



※伊予大洲駅



※大洲駅界限

各駅舎到着時刻は次の通り。

伊予大洲(6:27)～新谷 (にいや、8:17)～喜多山(8:42)～五十崎(いかざき、
9:28)～内子(10:11)～伊予立川(12:25)～伊予中山(14:12)～伊予大平
(16:45)～向井原(17:28)

①宇和海は宇和島への道筋、何回か乗った経験がある。向井原から内子まではトンネルが大半で、その間に駅舎があった。しかし、飯田線に比べ、線路が主として国道56号線に沿ってあり、易しいコースに思えた。また、水分補給のための自動販売機が随所にあり助かった。加えて、内子駅以降は山間のため木陰が多く助かった。6時32分、駅前にある少彦名神社鳥居を通過する。6時43分、神明神社前で本日の安全を祈願する。6時55分、国道に合流する。6時57分、香川でよく見かけるスーパー“マルナカ”あった。6時57分、松山方面に向かって列車が通過して行く。7時13分、回り道を経由して再度国道56号線に合流する。7時24分、ローソン大洲インター店でカッシーちらしを10部コピーする。しかし、ここから新谷駅は遠かった。7時36分、十夜ヶ橋を渡る。夏の風物誌である蝉の合唱を至る所で耳にする。7時52分、松山まで52kmと記した標識前を通過。8時10分、JR線を跨ぎ鉄道の左側となる。ここから遠くに駅らしいのが見え安堵する。新谷駅には8時17分到着。この駅に向かう途中、大洲市農村環境改善センター(8時21分)があった。



※上記のコンビニでカッシーちらしのコピー



※新谷駅への路



※新谷駅

②国道 56 号線に合流する。8 時 32 分、松山まで 46 km と記した標識前を通過。8 時 33 分、松山方面に向かって宇和海が通過して行く。もう少しで未踏破になりそうであった喜多山駅には 8 時 42 分到着。この駅の右手に山口踏切があり宇和島に向かって宇和海が通過して行く。



※喜多山駅への路



※喜多山駅

③8時47分、国道56号線に合流する。ここから小さな川を迂余曲折しながら進む。9時13分、大洲市から内子町となる。9時25分、JR線を潜った先に五十崎駅（いかざき）があった。丁度、上り列車がやって来る。



※五十崎への路



※五十崎駅

④9時39分、サングラスを着用する。9時45分、高速道路下を潜る。念のためお巡りさんがいたので、「内子駅への路」をお伺いする。「歩道をそのまま直進し、信号がある先を左折すれば行けます」と教えて頂く。教えてもらった道筋を歩いた先に内子駅（10時11分）があった。



※内子駅への路





※内子駅

⑤10時28分、八幡神社前を通過。内子笹まつりが、昨日と本日の2日間開催とのことで、商店街は飾りで溢れていた。コロナ禍以来4年振り開催とのことであった。30分位笹まつりのある道筋を堪能しながら歩く。10時47分、田中橋交差点内子町城廻で国道56号線に合流する。10時50分、松山まで39kmと記した標識前を通過。10時51分、只今の気温が34℃と表示がある。11時12分、高速道路が頭上にあつた。11時43分、伊予市26km、松山36kmと記した標識前を通過。11時55分、下りアンパンマン号が通過して行く。12時18分、立川郵便局前を通過。12時22分、62歩ある立川橋(中山川)を渡る。その先に伊予立川駅(12時25分)があつた。この駅舎の住所は、喜多郡内子町とあつた。実家が木田郡三木町なのでこの郡に親しみを感じた。



※内子笹まつり



※伊予立川駅への路





※伊予立川駅

⑥12時34分、高速下を潜る。12時41分、伊那市22km、松山32kmと表示した標識前を通過。12時59分、内子町から伊予市となる。この辺りの道路は県道324号とあった。13時43分、JR線下を潜り鉄道の左側となる。ここから伊予中山駅は遠かった。14時3分、中山郵便局前を通過。伊予中山駅には14時12分到着。この駅でソフトクリームを頂き小休止する。



※伊予中山駅への路



※伊予中山駅



※伊予中山駅に面した店でソフトクリーム!!火照った身体を癒してくれる

⑦15時4分、松山まで23 km地点に到達。15時7分、道の駅中山23 km地点に到達。15時28分、松山22 kmと記した表示前を通過。15時31分、ため池前を通過。ここから、山が終わると思えばさにあらず、伊予大平駅への道筋は遠かった。15時47分、標高290mある犬寄峠を通過。15時42分、松山まで21 kmと記した東峰トンネル前に到達。このトンネルは178歩あった。15時52分より、1,314歩ある犬寄トンネルを通過する。14時12分より、110歩ある犬寄大橋を渡る。16時21分、地名の標識に大平が登場し、伊予大平駅は近いと感じ

る。16時23分、松山まで18km地点に到達。16時41分、南山崎小学校前を通過。16時44分、28歩ある新田橋（森川）を渡った先に伊予大平駅（16時45分）があった。営業キロ7.4kmに2時間33分要す。



※犬寄峠への路



※犬寄峠



※東峰トンネル、犬寄トンネル



※伊予大平駅への路





※伊予大平駅

⑧この駅から向井原駅までは花道の道筋となる。駅前の通りを川に沿って歩く。16時54分、国道56号線に合流する。間もなく歩くと、前方から山がなくなる。16時57分、松山16kmと記した標識前を通過。17時5分、敬神前を通過。右手に高架した鉄道がだんだん幹線道路に近づいてくる。17時15分、JR線下を潜り鉄道の右側となる。17時22分、高速道路下を潜る。向井原駅には17時28分到着。時刻表を見ると17時台はダイヤなし。今度の列車は18時8分であった、1時間列車を早めて良かったと思う瞬間であった。やはり何事も早め早めの行動の大切さを痛感。今は日が長い、9月以降の時候が良い時には、日照時間が短くなり内子線を一日で踏破するのは難しいと強く感じる瞬間であった。



※向井原駅への路



※向井原駅

⑨向井原駅前には自動販売機がなく、200m 位先のローソンに出向きアイスと水を購入し一息入れる。暫く休息した後、伊予長浜経由の列車がやって来る。時刻表愛称によると、松山から宇和島までが”内子線”、伊予市～伊予長浜～伊予大洲が”伊予灘線”とあった。実際には内子線は内子駅から新谷駅まで（営業キロ 5.3 km）となっている。それ以外は予讃線の範疇となっている。カッシー館では、向井原駅から伊予大洲駅までを内子線と定義し対応したい。



※向井原駅界限（伊予市駅方面から）



※内子線踏破！！

このような路線形態は、宗谷本線の森駅から大沼駅で登場（赤井川駅経由か鹿部駅経由）。また、中央本線では岡谷駅から塩尻駅で登場（みどり湖駅経由か辰野駅経由）。更に長崎本線の喜々津駅から浦上駅で登場（市布駅経由か長与駅経由）。お陰様で宗谷本線の鹿部駅経由以外は踏破済みである。

⑩松山駅には18時50分到着。ここから市電に乗り継いでホテルには19時33分到着。汗を流した後、昨日お邪魔した網元に向かうが生憎カウンターは満席で最近オープンしたばかりのいよ水産で本日の疲れを癒す。5点盛の刺身は芸術的で最高であった。

